【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成19年1月11日(2007.1.11)

【公開番号】特開2004-213650(P2004-213650A)
【公開日】平成16年7月29日(2004.7.29)
【年通号数】公開・登録公報2004-029
【出願番号】特願2003-423530(P2003-423530)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　12/14　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　12/14　　３２０Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成18年11月21日(2006.11.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項７】
元データ、乱数、分割データ、分割数および処理単位ビット長をそれぞれS,R,D,nおよびbで表すとともに、変数としてi(=1～n)およびj(=1～n-1)を用いて複数(n-1)個の元部分データ、複数(n-1)個の乱数部分データ、複数(n)個の分割データおよび各分割データの複数(n-1)個の分割部分データのそれぞれのうちの１つをそれぞれS(j),R(j),D(i)およびD(i,j)で表わし、変数jを１からn-1まで変えて、各元部分データS(j)を元データSのb×(j-1)+1ビット目からbビット分のデータとして作成し、U[n,n]を
ｎ×n行列でi行j列の値u(i,j)が
　i+j≦n+1 のとき u(i,j)=1
　i+j＞n+1　のとき u(i,j)=0
である行列とし、P[n,n]をn×n行列でi行j列の値p(i,j)が
　j=i+1　　のとき p(i,j)=1
　i=n,j=1　　のとき p(i,j)=1
　上記以外のとき　p(i,j)=0
である行列としたとき、c(j,i,k)を(n-1)×(n-1)行列であるU[n-1,n-1]×P[n-1,n-1]^(j-1)のi行k列の値と定義し、ただしU[n-1,n-1]×P[n-1,n-1]^(j-1)とは行列U[n-1,n-1]とj-1個のP[n-1,n-1]の積を表し、Q(j,i,k)をc(j,i,k)=1のとき、Q(j,i,k)=R(k)、c(j,i,k)=0のとき、Q(j,i,k)=0 と定義したとき、各分割部分データD(i,j)を、変数iを１からnまで変えながら各変数iにおいて変数jを１からn-1まで変えて、i<nのとき、
【数１】

$$D(i,j) = S(j)*\left(\prod_{k=1}^{n-1} Q(j,i,k)\right)$$

とし、i=nのとき、
　D(i,j)=R(j)
として生成する、ただし
【数２】

$$\prod_{k=1}^{n-1} Q(j,i,k) = Q(j,i,1)*Q(j,i,2)*\cdots\cdots*Q(j,i,n-1)$$

＊は排他的論理和演算を表す、ことを特徴とする請求項１記載のデータ分割方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
　また、本発明は、元データ、乱数、分割データ、分割数および処理単位ビット長をそれぞれS,R,D,nおよびbで表すとともに、変数としてi(=1～n)およびj(=1～n-1)を用いて複数(n-1)個の元部分データ、複数(n-1)個の乱数部分データ、複数(n)個の分割データおよび各分割データの複数(n-1)個の分割部分データのそれぞれのうちの１つをそれぞれS(j),R(j),D(i)およびD(i,j)で表わし、変数jを１からn-1まで変えて、各元部分データS(j)を元データSのb×(j-1)+1ビット目からbビット分のデータとして作成し、U[n,n]を
ｎ×n行列でi行j列の値u(i,j)が
　i+j≦n+1 のとき u(i,j)=1
　i+j＞n+1　のとき u(i,j)=0
である行列とし、P[n,n]をn×n行列でi行j列の値p(i,j)が
　j=i+1　　のとき p(i,j)=1
　i=n,j=1　　のとき p(i,j)=1
　上記以外のとき　p(i,j)=0
である行列としたとき、c(j,i,k)を(n-1)×(n-1)行列であるU[n-1,n-1]×P[n-1,n-1]^(j-1)のi行k列の値と定義し、ただしU[n-1,n-1]×P[n-1,n-1]^(j-1)とは行列U[n-1,n-1]とj-1個のP[n-1,n-1]の積を表し、Q(j,i,k)をc(j,i,k)=1のとき、Q(j,i,k)=R(k),c(j,i,k)=0のとき、Q(j,i,k)=0 と定義したとき、各分割部分データD(i,j)を、変数iを１からnまで変えながら各変数iにおいて変数jを１からn-1まで変えて、i<nのとき、
【数３】

$$D(i,j) = S(j)*\left(\prod_{k=1}^{n-1} Q(j,i,k)\right)$$

とし、i=nのとき、
　D(i,j)=R(j)
として生成する、ただし
【数４】

$$\prod_{k=1}^{n-1} Q(j,i,k) = Q(j,i,1)*Q(j,i,2)*\cdots\cdots*Q(j,i,n-1)$$

＊は排他的論理和演算を表す、ことを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４２】
（４）P[n,n]とは、n×n行列であって、i行j列の値をp(i,j)で表すと、
　j=i+1　　のとき p(i,j)=1
　i=n,j=1　　のとき p(i,j)=1
　上記以外のとき　p(i,j)=0
である行列を意味するものとし、「回転行列」ということとする。具体的には下記のような行列であり、他の行列の右側からかけると当該他の行列の１列目を２列目へ、２列目を３列目へ、…,n-1列目をn列目へ、n列目を１列目へ移動させる作用がある。つまり、行列

Pを他の行列に右側から複数回かけると、その回数分だけ各列を右方向へ回転させるように移動させることができる。